

第28回全国在日外国人教育研究集会・京都大会のご案内

多文化共生社会の実現にむけて、学校や地域の教育実践を交流し、
さらに人々のつながりを深めよう

2005年末現在、日本の外国人登録者数は200万人をこえ、その人びとの出身国・地域はますます多様化しています。また、1985年の国籍法の改正や近年の在日コリアンなどの日本籍取得・国際結婚の増加などによって、外国をルーツにもつ人々も増加の一途をたどり、グローバル化、少子・高齢化が進行する中で、多文化社会の状況は確実に進んでいます。そして、その動きをサポートする行政やN G Oのとりくみも広がりを見せています。しかし、多文化共生社会の実現には多くの課題が山積し、子どもたちを取り巻く状況は厳しさを増しています。とりわけ、在日の親たちは、不安定就労を余儀なくされ、格差社会の基底部を担わされています。そして、子どもたちは、市場原理に基づく教育改革や教育における成果主義の中で、放置されようとしています。

こうした状況は、洪水のようにあふれ出る朝鮮民主主義人民共和国に対するバッシングや在日外国人への管理統制強化の中ですます強まっています。これらは、教育基本法の改悪から憲法改悪の中で強められるナショナリズムの動きと軌を一にしています。

全外教は、1979年の第1回大会以来、在日コリアンの子どもたちへの差別と排外意識を克服し、進路を保障するとりくみを出発点にして、在日外国人と日本人の子どもたちの自立と連帯の場づくりを積極的に保障する運動や実践を進めてきました。その中で、歴史を知ること、子どもたちや保護者の思いを知ること、子どもたちをつなげていくことの大切さを学んできました。そして今、全外教大会の在日外国人生徒交流会には、100名をこえる生徒たちが集い、交流を深め、友情や連帯の絆を強めています。

京都での全外教大会の開催は、今回で4回目となります。京都市においては、1992年に「外国人教育の基本方針」が出されて以来15年が経過しました。京都大会地元実行委員会は、大会までの間に4回のセミナーを開催し、これまで外国人教育にかかわってきた人々のつながりを、さらに大きなものにしていきたいと考えています。これらを第28回全国在日外国人教育研究集会で京都の地に持ち寄り、さらに大きな人びとのつながりを深め、そのうねりを広げたいと思います。ぜひ、京都大会にご参加ください。

2007年4月

- 〔主 催〕 全国在日外国人教育研究協議会
第28回全国在日外国人教育研究集会・京都大会地元実行委員会
- 〔全国後援〕 (財)朝鮮奨学会、日本華僑華人聯合總會、全国キリスト教学校人権教育研究協議会
日本教職員組合、部落解放同盟中央本部、移住労働者と連帯する全国ネットワーク
フォーラム平和・人権・環境
- 〔地元後援〕 京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会、滋賀県教育委員会、甲良町
京都府人権教育研究協議会、京都府立高等学校人権教育研究会、京都市立高等学校人権・同
和教育研究会、京都国際学園、京都市国際交流協会、京都府国際センター、世界人権問題研
究センター、京都部落問題研究資料センター

6月22日現在
(順不同)

第28回全国在日外国人教育研究集会・京都大会地元実行委員会
全国在日外国人教育研究協議会

〒604-0867 京都市中京区烏丸丸太町西入るNHKビル3F TEL 075-212-1338
e-mail zencho-1j@infoseek.jp, URL <http://zengaikyo.tuzikaze.com>

第28回全国在日外国人教育研究集会・京都大会 開催要項

テーマ 多文化共生社会の実現にむけて、学校や地域の教育実践を交流し、さらに人々のつながりを深めよう
日程

8月18日(土)	フィールドワーク・全国在日外国人生徒交流会(～19日)				
8月19日(日)	11:30	12:30	14:00	17:00	18:00
	受付	開会行事	地元報告	全国交流会	
8月20日(月)	9:00	9:30	12:00	13:00	16:00
	受付	分科会	昼食	分科会	閉会行事

会場

全体会 大谷中・高等学校講堂(京都市東山区今熊野池田町12)

分科会 大谷中・高等学校

生徒交流会 甲良町立甲良東小学校(18日～19日・滋賀県犬上郡甲良町横関215)

全国交流会 韓麺館38(京都市下京区五条七本松東南角 TEL:075-326-2661)

全体会

序章 京都の在日外国人とその歴史をたどる

これまでの京都の在日外国人の状況や民族学校の歴史的な経緯、そこにあらわれた諸問題を映像を中心にたどっていきます。

第1章 京都に暮らす在外外国人の思い

京都は在日コリアンの占める割合の高い府県の一つです。そしてまた、近年、ニューカマーの人たちも急増している状況です。ここでは、在日外国人の若者を中心にその思いや願いを伝えます。

第2章 京都の在日外国人を支えてきたとりくみ
現在にいたるまでの京都の学校や地域社会の

分科会

とりくみを紹介し、多文化共生社会を目指す途上にあるさまざまな課題についても考えたいと思います。

第3章 京都に暮らす在日コリアンの思い

今一度、在日コリアンの人々に焦点をあて、京都の在日外国人教育の現実と行く先を考えたいと思います。

終章 京都から全国へ!

全国在日外国人生徒交流会報告

京都の地から全国へ、そして、次世代の人たちへ、その思いをさまざまな立場から発信します。

共通課題 <多文化共生>と<本名(民族名)を呼び名のる>とりくみをすすめよう
<子どもたちや教職員・地域がどう変わったか>を明らかにしよう

1、異なる文化との出会い

子どもたちに異なる文化とどう出会わせたか。
在日コリアンをはじめとする外国人の歴史をどう教材化し、親の生活史をどう伝えたか。
日本籍・ダブルの子どもにかかわるとりくみをどう進めたか。

レポート 兵庫・ひよどり台小、広島・ノートルダム清心中、京都・京都市立中

2、本名(民族名)を呼び名のる

本名(民族名)を呼び名のる関係をどうつくったか。
在日外国人と日本人の子どもがどのような関係を結んだか。

名前の自己決定をめぐる状況はどうなっているのか。

るのか。

レポート 鳥取・境高、京都・全朝教京都、兵庫・西宮今津高

3、学校をひらく

自立と連帯の場をどのように保障したか。
地域や保護者・NPOをはじめとする教育支援団体とのつながりをどのように深めたか。
民族クラブ・朝問(文)研・多文化研などがどのように活動しているか。

レポート 奈良・二階堂高、京都・京都教育大、大阪・大阪学芸高

4、差別と排外に抗して

差別事件へのとりくみをどのようにすすめたか。
排外意識や自民族中心主義を解き放つためにど

うとりくんだか。

反差別の教育実践をどのように展開したか。

レポート 滋賀・滋賀朝鮮初級学校、大阪・高槻むくげの会、神奈川・日本女子大

5、多文化共生をめざして

多文化共生の教育をどのようにすすめたか。

新たに渡日した子どもたちの教育にどうとりくんだか。

進路の保障はどのようになされているか。

レポート 兵庫・富島小、滋賀・水戸小、京都・京都市立中、京都・京都市立小、京都・多文化共生センターきょうと、神奈川・横浜翠嵐高、滋賀・野洲地域総合センター

6、未来をひらく

進路をめぐる差別の実態はどのようになっているのか。

進路の保障をどうすすめる、子どもたちの未来をどうつくるのか。

専門学校・大学等ではどのようにとりくみをしているのか。

レポート 三重・夕張栲梗丘高、奈良・奈良県外教、京都・南宇治中

7、全国在日外国人生徒交流会

名前・進路・生き方・学校・友人等、抱えている問題を出しあおう。

自らをとりまく現状について、明らかにしよう。

先輩の生き方に学び、未来について語りあおう。

フィールドワーク

コース 「京都市在日ゆかりの地を訪ねる」コース（12時45分京都駅集合、16時京都駅解散、定員50名）

朝鮮通信使の研究者の仲尾宏さん（京都造形芸術大学）の案内で、市内の在日ゆかりの地を貸し切りバスでまわります。京都在住の在日一世のつくった美術館、戦時下、同志社大学留学中に、京都下鴨署に治安維持法違反容疑で捕らえられ獄死した夭折の詩人尹東柱の「留魂之碑」（彼が下宿し、逮捕された場所に2006年建立）、秀吉の朝鮮侵略の時、少年として京都に連行された宗厳和尚の墓、さらにその時に朝鮮から持ち帰った耳や鼻が埋葬されている耳（鼻）塚を訪ねます。今年は「朝鮮通信使400周年」バスの中では仲尾さんの解説があります。

京都駅 高麗美術館（北区） 尹東柱留魂之碑（左京区） 黒谷西雲院開基宗厳和尚の墓（左京区） 耳塚（東山区） 京都駅

コース 「ウトロに学ぶ」コース（13時半京都府立城南勤労者福祉会館集合、16時半解散、定員80名）

京都市宇治市にある在日朝鮮人集住地域であるウトロには、日本の植民地政策と戦後処理のあらゆる矛盾が集積しています。この地において、今一度、朝鮮と日本の歴史について学びたいと思います。

（京都府立城南勤労者福祉会館は、近鉄伊勢田駅より西へ800m）

全国在日外国人生徒交流会

8月18日（土）午後13時 JR東海道線河瀬駅集合（予定）、19日（日）はバスで全体会会場に移動後解散

詳細は、生徒交流会担当者（zencho-1j@infoseek.jp）まで

払込取扱票

00	京都																				
口座番号（右詰にご記入ください）																					
0	1	0	5	0	8	7	9	8	9	5	金額										
加入者名	全朝教京都										料金		特殊取扱								
通信欄	大会参加票をお送りしますので、楷書で正確に記入してください。																				
	名前	全国交流会への参加				フィールドワークへの参加															
		参加する	参加しない	コース 在日ゆかりの地を訪ねる	参加する、参加しない	コース 「ウトロに学ぶ」	参加する、参加しない														
		参加する	参加しない	コース 在日ゆかりの地を訪ねる	参加する、参加しない	コース 「ウトロに学ぶ」	参加する、参加しない														
送金内訳	大会参加費	¥4,500 ×	人	フィールドワーク参加費	¥3,500 ×	人															
	全国交流会参加費	¥4,000 ×	人	フィールドワーク参加費	¥1,000 ×	人															
払込人住所氏名							(郵便番号)					受付局日附印									
							(電話番号)														
裏面の注意事項をお読みください。（郵政事業庁）																					

払込票兼領収証

口座番号	0	1	0	5	0	8
右詰にご記入ください						
	7	9	8	9	5	
加入者名	全朝教京都					
金額						
払込人住所氏名						
料金	(消費税込み) 受付局日附印					
	円					
特殊取扱						

各票の印欄は、払込人において記載してください

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください

参加申し込み方法

- ・下記の郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、大会資料代等を振り込んでください。
- ・全体会と分科会には、当日受付での参加もできます。
- ・郵便振替での申し込みの締め切りは、8月3日（金）です。
- ・フィールドワークの申し込みは、8月3日以前でも、定員になりしだい締め切ります。

大会・フィールドワーク・全国交流会参加の費用について

- ・大会参加（大会資料代等）..... 4,500円
- ・フィールドワーク 3,500円
- ・フィールドワーク 1,000円
- ・全国交流会..... 4,000円

書籍・資料の販売、展示について

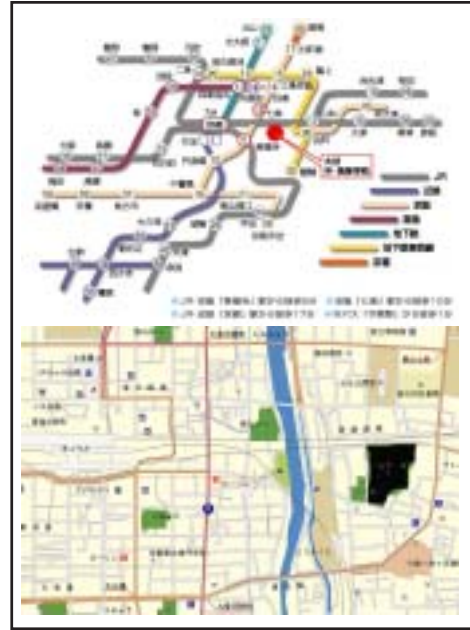
書籍・資料の販売を行いますのでご活用ください。大会本部で認められた場所以外で行うことはできません。

その他

ビラ・署名は、大会本部の許可のないものは認められません。広告、チラシは前もって「大会要綱集」に刷り込みますので、問い合わせてください。

宿泊

宿泊は、下記の旅行社へ7月27日（金）までに電話・ファックスで直接申し込んで下さい。京都駅前にある京都第2タワーホテル、1泊朝食付き8400円（税込）です。



(株)日本旅行 京都教育旅行支店 伊藤与力さん
〒600-8006 京都市下京区四条通柳馬場西入る ニッセイ四条柳馬場ビル2階
TEL : 075-223-2315 FAX : 075-252-3122

この受領証は、郵便局で機械処理した場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号および金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

(郵政事業庁)